

## 令和7年産米の需要に応じた生産の推進について

令和7年1月21日  
埼玉県農業再生協議会

令和6年12月24日に開催された埼玉県農業再生協議会臨時総会において、令和7年産米の埼玉県の「生産の目安」及び「水田農業作付ビジョン」を策定いたしました。

令和6年産米の作付実績については、米価上昇や飼料用米一般品種の交付単価引き下げなどの影響により主食用米への回帰が見られ、「生産の目安」(28,160ヘクタール)に対して240ヘクタール上回る結果でした。

令和7年産米の埼玉県の「生産の目安」については、本県における令和7年産の需要見通しに、大きく減少している在庫量を勘案のうえ算定し、数量で142,221トン(前年比+3,292トン)、面積で28,825ヘクタール(前年比+665ヘクタール)とお示したところです。

現在、民間在庫量は国・県ともに過去の在庫水準と比較して大きく減少しており、相対取引価格も平成5年産以来という高い水準となっている状況です。

取引価格については、肥料・燃料等の高騰など生産資材の価格上昇が転嫁されたことだけでなく、品薄感への対応など流通の状況も上昇の要因となっています。

一方、主食用米の需要量が毎年10万トン減少(全国)している中で、飼料用米等から主食用米への回帰がさらに加速すれば、需給が緩和し、再び在庫量が適正な水準を越え、取引価格が大きく下がる懸念されます。

こうしたことから、7年産に向けて、あらためて需要に応じた生産の取り組みが重要と認識しているところです。

下記のとおり直近の米をめぐる需給環境及びこれまでの在庫量と相対取引価格の関係などを示しますので、ご理解の上、米の需要に応じた生産に向け、より一層の推進をいただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1 直近の販売の概況

##### (1) 民間在庫数量(令和6年11月末速報値)

埼玉県内	20,100ト(前年▲14,300ト、58.4%)
全 国	2,600,000ト(前年▲440,000ト、85.5%)

※農林水産省「米に関するマンスリーレポート」より

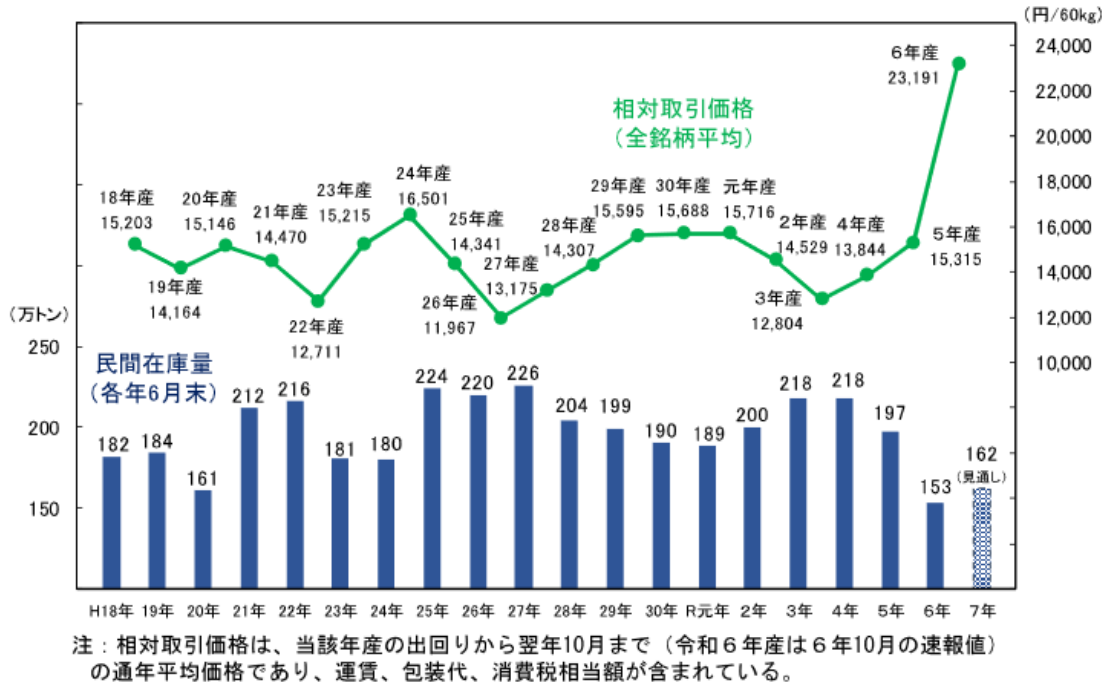
(2) 相対取引価格（税込み）（令和6年10月末時点）

全銘柄平均 23,191 円/俵（前年+7,876 円/俵）

※農林水産省「米に関するマンスリーレポート」より

(3) 相対取引価格と民間在庫量の推移（令和6年10月末時点）

相対取引価格と民間在庫量の推移

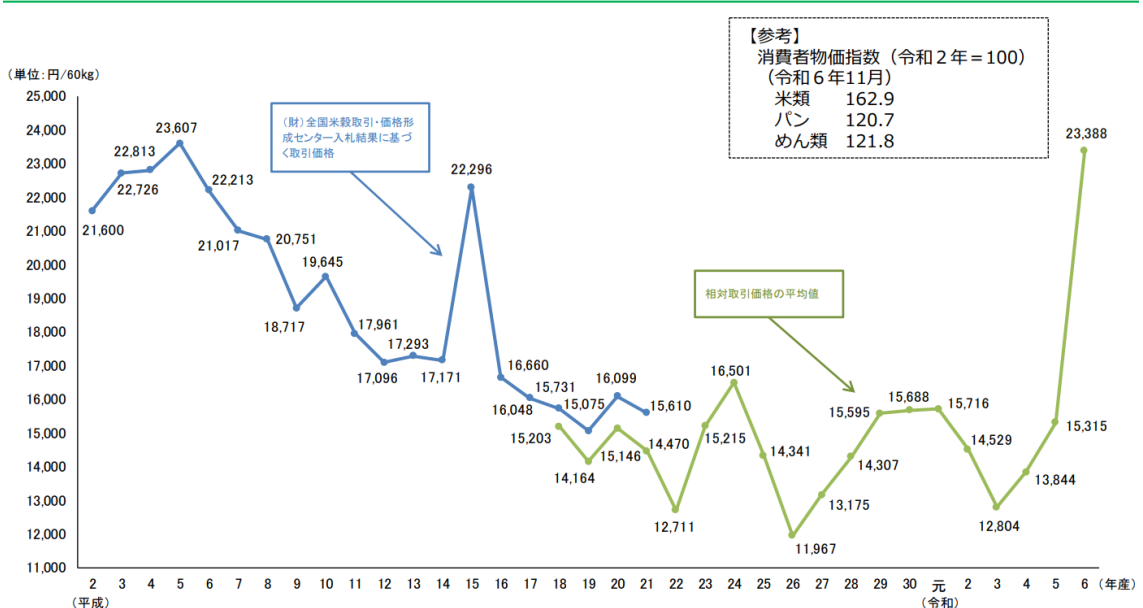


※農林水産省 関東農政局「令和7年産に向けた水田農業の取組方針」より

(4) 長期的な主食用米の価格動向（令和6年11月末時点）

※年産平均価格

長期的な主食用米の価格の動向



※農林水産省「米の需給状況の現状について」より

## 2 作付け転換の徹底について

「令和7年産埼玉県水田農業作付ビジョン」でお示した各作物の目標面積は需要量等を反映したものであり、各作物の面積を維持し、需要に応じた生産量を安定供給していくことで水田面積の維持と主食用米価格の安定を図ることができます。

毎年約10万トン減少するという主食用米需要の実態を踏まえると、適正な在庫水準を確保しつつ、中・長期的な需要減少に対応できるよう、気を緩めることなく引き続き需要に応じた生産を徹底していく必要がありますので、基本的な方針として、「生産の目安」の面積を確実に達成した上で、計画的な作付けに取り組むようお願いいたします。

また、各地域農業再生協議会におかれましては、令和7年産の作付転換はもとより、収益力を強化し、意欲を持って水田農業を継続できるよう、二毛作やブロックローテーションなども含め、水田農業の将来について市町村やJAと連携し、地域での話し合い等に取り組んでくださるようお願いいたします。